

(別紙)

平成28年度 産業廃棄物税基金充当事業 実績報告書

事業名： 環境産業コーディネーター派遣事業

事業実施期間： 平成22年度から平成31年度

担当課室名： 環境生活部環境政策課

担当班名 環境産業振興班

TEL： 022-211-2664

e-mail： kankyoi@pref.miyagi.lg.jp

URL： <http://www.pref.miyagi.jp/soshiki/kankyo-s/eic.html>

1 事業の目的

循環型社会形成に必要な個別企業の3Rの推進を目的に、3R推進の仕組（組織）作りの支援、環境・リサイクル産業の育成（技術開発及び優良化の支援）、主に産業廃棄物の排出事業者や中間処理業者等の省エネルギー推進、新エネルギー設備導入支援のために活動する環境産業コーディネーターを県内各地域・各企業に派遣して、循環型社会の形成を推進する。

2 当該年度の実施事業の概要・実績

民間企業において製造管理や品質管理等の実務経験を有する者を非常勤職員「環境産業コーディネーター」として配置し、次のような活動を展開しながら企業の3Rの取組を支援した。

【主な支援活動】循環型社会形成を推進するための以下の活動

- ・ 個別企業の3R推進等のための支援活動
- ・ 地域毎の3R推進等のための企業連携（エコフォーラム）の支援活動
- ・ 産学連携によるリサイクル技術の共同研究開発支援活動
- ・ 産業廃棄物の適切な再使用、再生利用に関する情報提供システムの運営

3 当該年度の実施事業の成果

- ・ 平成28年度の企業訪問実績は、延べ973件であった。
- ・ 今年度新たに、将来県内で課題となる産業廃棄物を対象とした「みやぎ太陽光発電システムリサイクル技術セミナー」を開催し、県内事業者へ情報提供を行った。
- ・ 「リサイクルのススメ」宮城県公式Webサイトの「情報公開情報」の更新と新規登録を実施した。
- ・ 各エコフォーラムの支援のほか、「エコフォーラム幹事企業連絡会」を開催し、エコフォーラム活性化のためエコフォーラム間の情報共有を図るとともに、産廃税等関連補助事業について情報提供を行った。
- ・ 省エネ活動の好事例と3R改善事例の紹介を行うため、エコフォーラム活動の中で優良企業視察を企画し実施した。
- ・ プラスチック・ゴム製造事業者を対象に「プラスチック・ゴム製造事業者による製造工程改善セ

セミナー」を開催し、製造工程改善がもたらす廃棄物削減・省エネ効果及び改善方法について、啓発を行った。

- ・エコフォーラム未参加企業に働きかけを行った結果、新規に3事業所がそれぞれの地区の地域エコフォーラムに参加した。
- ・3R推進コーディネートから派生して、環境関連企業間のマッチングも行った。

4 今後の展開

各業界に応じた3R推進への支援活動、地域における3R推進のための地域エコフォーラムの運営の支援、産学連携によるリサイクル技術の共同研究開発支援及び個別企業ごとに応じた課題解決支援活動を行うことで、循環型社会の形成を推進する。

また、平成28年度に引き続き、主に産業廃棄物の排出事業者や中間処理業者等の省エネルギー推進及び再生可能エネルギーの普及をはじめとした低炭素化事業への取組を推進する。

さらに、企業のニーズと大学等のシーズをマッチングさせるような産学連携を強化し、産業廃棄物の3Rに取り組む企業の課題解決に向けた支援活動を行う。

5 廃棄物の削減・リサイクル、適正処理の促進の効果等を示す指標の数値

(指標：3R活動支援件数(顕著な成果数))

単位：件

平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度
4	2	3	3	3

※平成28年度の顕著な成果

- ①例年開催している「工程改善セミナー」を、今年度は特定の業種に絞り、参加者にとってより有益な情報に絞って提供を行った。

また東北大学教授を講師に呼び、学内施設でセミナーを開催するなど、産学連携にも貢献した。

- ②「リサイクルのススメ」宮城県公式Webサイトの「情報公開情報」の更新と新規登録(計18社)を実施した。

- ③3R推進コーディネートから派生し、廃ガイシを取り扱う高田商店と東北大学の久田教授を産学間マッチングしたほか、両者による廃ガイシの高付加価値リサイクル化の取組を支援した。

6 事業費の推移

単位：千円

平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度
21,970	21,912	20,348	22,795	21,161